

早天祈祷会・創立140周年記念式

2015年11月29日

同志社創立記念日の11月29日(日) 7時から、若王子山頂にある同志社墓地において、早朝の澄み切った空気の中、早天祈祷会が厳かに執り行われた。

早天祈祷会の後、神学館礼拝堂にて同志社創立140周年記念式が行われ、村田学長による設立始末朗読や、大谷総長による式辞が述べられ、多くの参列者は共に創立記念日を心静かに祝った。



2015年度文化祭

2015年10月31日

ハロウィンとも重なり、「香里ハロウィンパーティー」のテーマで文化祭が開催された。生徒はもとより、教職員、保護者や来場者を巻き込んで大いに盛り上がった。



天体観望会

2015年6月22日

希望館の屋上で備品の望遠鏡を使って、惑星の観望会を行った。高校3年生23名が参加した。



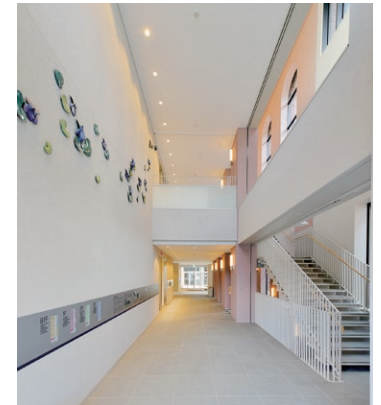
「新心館」竣工

2015年9月17日

今出川キャンパスに新心館が竣工した。「新心」は新約聖書のローマの信徒への手紙12章2節、エフェソの信徒への手紙4章22～24節を出典としている。日々の営みが心身ともに新たにされるという願いが込められており、学内寮、学生福利厚生施設に名づけられていた名称を継承している。建物は食物栄養科学科関連の教育研究棟としての機能を担う。



外観



エントランスホール

中学校 沖縄研修旅行

2015年12月22日～25日

2015年12月22日からの3泊4日、沖縄戦の実像と沖縄の現状を学んだ。沖縄の魂を語る平和ガイドの方に案内していただき、戦時下の悲しい出来事だけでなく、今も続く基地の騒音も体験することができた。また、沖縄の美しい自然の中で海やたくさんの生き物との触れ合いも貴重な体験だった。



「普天間基地」の現状を知る。説明中もオスプレイが爆音を響かせて何度も飛来する。説明の音が聞きとれない。（於：嘉数の高台）



「白梅の塔」近くの壕で沖縄戦の実像について学ぶ。石灰岩の造形美の中で、漆黒の闇も体験し、当時のようすを想像した。（於：轟壕）

国際学院

初等部: Naomi Kawase & DIAES G5 Project 2015年12月~2016年1月



初等部5年生が映画監督の河瀬直美さんとNPO法人なら国際映画祭実行委員会の指導のもと、奈良のすばらしさを伝える映像創りのプロジェクトを開始した。これは、探究の単元 (Unit of Inquiry) の一環としての学習。写真は、プロジェクトのスタートにあたって、河瀬氏が本校に来校、講演の後に子どもたちと映像創りのワークショップをしてくださった様子。

国際部: Focusing on Social Sciences and Natural Sciences beyond the Classroom 2015年9月10~12日, 9月13~15日



This fall has been a busy start to the 2015-2016 school year at DISK. Both the elementary and secondary school attended camps that provided the students an opportunity to continue to study ecology and engage in team building. This year's camps focused on incorporating the social sciences as well as the natural sciences. The Elementary school visited Lake Biwa in Shiga, while the Secondary school visited Kushimoto Marine Park located along the Sabiura Coast in Kushimoto.

幼稚園

クリスマス礼拝・祝会

2015年12月9日

同志社大学寒梅館ハーディーホールにて、クリスマス礼拝・祝会をおこなった。年長組による降誕劇の後、祝会では二学期おこなってきた縦割り保育による取り組みの「チャレンジクラブ」(花クラブ・ダンスクラブ・毛糸クラブ・運動クラブ・聖歌隊)で発表をし、それぞれの表現方法でイエス様のご誕生をお祝いした。



国際中学校・高等学校

創立35周年記念行事

2015年11月21日

創立35周年記念行事ホームカミングデーを行った。当日は多くの卒業生を迎え、在校生による発表や同窓会によるパーティーを行い、本校の今後益々の発展を願った。



小学校

開校10年記念式典

2015年11月27日

同志社小学校は、今年開校10年を迎えた。開校10年記念礼拝の後、校歌の作詞者である谷川俊太郎氏をお招きし、記念の集いを行った。その後、谷川氏は本校を見学され、子供たちの作品に興味深そうにご覧になっていた。



INTERVIEW 私の志

(本文4~7頁)

インタビューの2人

堀畑裕之さん

1991年、同志社大学文学部文化哲学及倫理学専攻（現文学部哲学科）卒業。学生時代は体育会弓道部主将として全日本連覇に貢献。95年、文学研究科哲学専攻博士課程（前期課程）修了。文化服装学院でアパレルデザインを学び、98年、コム・デ・ギャルソンに入社。パタンナーとしてパリコレクションに参加。退社後、ロンドンでキャリアを積み、2005年に、「日本の美意識が通底する新しい服の創造」をコンセプトとしたブランド「matohu (マトウ)」を設立。09年毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞受賞。株式会社EWS(エス・イー・エス)代表取締役。matohuデザイナー。



歴史や文化をふまえた、現代人の心に響く魅力あるデザインを生み出したい。

今村友香さん

1977年福岡県生まれ。2000年、同志社女子大学文学部日本語日本文学科卒業。01年、若波酒造入社。04年、酒類総合研究所を開設。08年、純米酒「若波 縁(ゆかり)」が福岡県酒類鑑評会にて九州の杜氏としては女性初の優等賞受賞。同年、「あまわろ」が福岡県産業デザイン賞奨励賞受賞。若波酒造8代目杜氏に就任。09年、本場のリキニールを学ぶため渡仏。11年全国酒類鑑評会にて吟醸の部入賞。12年、第1回福岡県酒類鑑評会にて大吟醸の部で福岡県知事賞、純米・純米吟醸の部および本醸造・吟醸の部で金賞を受賞。13、14年、同鑑評会にて全出品酒が金賞を連続受賞。草月流華道師範、専門着装師ジュニア野菜ソムリエの資格を有する。



日本酒は日本文化の一員です。酵母やお酒だけでなく、酒蔵独特の風景も守っていききたいと思います。